

ホンダラケ緊急討論会 異世界モノとは何か

M「今回はちょっと趣向を変えまして、討論会です。何故なら!!展示のテーマ「異世界モノ」の定義がよくわからないからだ！」

F「えーと、別世界が舞台ってことじゃないんですか？」

M「最近は『異世界に行ったらホニヤララでした』みたいなタイトルの本がよく出版されてるけど、それって平行世界ってことだよね？例えばムーミンみたいに最初から架空の世界を舞台にしたお話は『異世界モノ』とは言わないのか？」

A「ムーミンはファンタジーでは・・・？異世界モノは現実世界の人間が異世界にトリップする話のことじゃないですか？例えば『十二国記』とか？」

F「あ、じゃあ『ハリーポッター』も異世界ものと言えませんか？魔法世界にトリップ♪」

M「ええーっ？十二国記はわからんでもないけど、ハリポタこそどっぷりファンタジーじゃないの？だって魔法だし。」

F「一緒じゃないですかっ！向こうの世界で架空生物とか獣人とか出てくるし」

M「いやいや。この2作には決定的な違いがありますよ？」

A & F「？」

M「『十二国記』の世界は生物が木の実に生ります！やっぱりこんくらい発想が飛んでないと異世界とは言えないでしょう」

A「そもそも異世界ってどこなんでしょうか？」

F「・・・フツ。此処ではない何処か(遠い目)」

M「（それって現実逃避・・・）えっとじゃあ流行りの異世界モノはどうやって異世界に行くの？」

F「事故に遭うんです」

M「え？死ぬの？」

F「いや、あつと思って次の瞬間には此処は何処？異世界？？みたいな」

M「それって死んでるよね？」

A「死んでる気がしますね」

F「死んでいませんてば！こっちの世界に帰ってきたりすることもあるし」

M「なんか都合いいよねー。で、飛んでった世界は剣と魔法のゲーム世界でしょ？」

A「戻りますけど『十二国記』はゲーム世界とはずいぶん違ってますよ」

F「じゃあ『十二国記』は異世界モノではない？」

M「わかんないわよ？『十二国記』だって『王だと言われて異世界に行ったら誰も助けてくれない件』とかいうタイトルだったら異世界モノじゃない」

F「そんなのイヤアアアーーっ」



どこか遠くへ行きたいなあ
<http://sanda-city-lib-ya.sblo.jp/>

→此処ではない何処か特集←

開けばすぐに「ここではないどこか」に旅することができるのが本のいいところですよね。今回はイマドキの「異世界もの」から本格ファンタジーまで、あなたを別世界に誘う本を幅広く紹介します。無事に帰ってきて下さいね。

失われたものたちの本 933/コナ



ジョン・コナリー：著 田内志文：訳 東京創元社 2015年刊

本が大好きな少年デイヴィッドは母親を病気で亡くしてしまう。新しい母親が来て弟が生まれるが、受け入れられずにいた。ある時失った母親の“助けて”という声が聞こえ、夢中で追いかけるとどこか知らない森に迷い込んでいた。そこはおとぎ話の登場人物や怪物がうごめく異世界だったのだ。元の世界に戻るため、デイヴィッドは困難に挑んでいく。有名なおとぎ話がたくさん出てきますが、どれもハッピーエンドとはいきません。始終ダークな雰囲気ですが不思議と読後はさわやかで、読んでよかったと思える本です。

ホンダラケとは

本誌は、読者の身も心も「本だけ」にしてやろうという心意気から生まれた中高生向け小冊子です。

本誌に登場する本は全て三田市立図書館本館のYA（ヤングアダルト）コーナーでご覧いただけます。（もちろん、大人の方もお読みいただけます）

2か月に1度、年6回発行予定です。

皆様が手に取りたくなる誌面にしてまいります。ご期待ください。

青春読書記

～三田学園図書委員会より愛をこめて～

前回は掲載ができず、本当にすみませんでした。今回のテーマは「春」です！

「君の肺臓を食べたい」

住野よる：著 双葉社 2015年刊

この衝撃的なタイトルにひかれた方も多いいらっしゃるのではないでしょうか。私もその一人です。この本の内容をざっくりまとめるに『桜良と[地味なクラスメイト]君が繰り広げる非日常な日常』といったところでしょうか。物語は[地味なクラスメイト]君の視点で描かれており、桜良の言動に違和感を感じることもありますが、ラストで全ての謎が解けます。私はタイトルの意味がわかったとき、本当に涙が止まりませんでした。この言葉を通して伝えたかった事とは一体何だったのでしょうか。

「恋愛」や「友情」という言葉だけでは表せない、二人の激しくもどこか穏やかな関係に浸ってみてはいかがでしょうか。

ホンダラケは皆様の投稿をお待ちしております。Y Aコーナーに用紙・ポストがございますので、おすすめ本や本誌の感想・要望などお寄せ下さい。

F/スミ



リサイクル予備軍 ALMA電波望遠鏡

石黒正人：著 筑摩書房 2009年刊

442.3/09

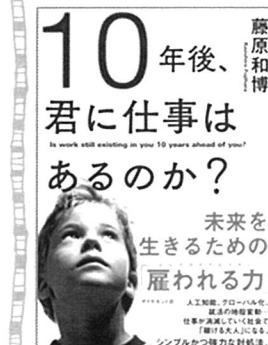
このコーナーで紹介する本を選びため、リストを抽出したところ、この5年借りられていないばかりか、貸出回数がわずか2回という可哀想すぎるこの本を見ました！さて「ALMA電波望遠鏡」とは何か？宇宙からの電波をとらえるのが電波望遠鏡なのですが、ALMAはパラボラアンテナを何十台も設置して、一般的な電波望遠鏡よりハイスペックな能力で宇宙の電波をとらえることができます。現在はすでに運用されているALMAですが、本書はALMA建設プロジェクト段階のお話。表紙を飾るちまちましたALMAがカワイイですが、中身はガツツリ宇宙の不思議と謎が詰まったサイエンス。さて貸出2回の汚点を返上できるか？

新着本Pick Up

10年後、君に仕事はあるのか？

藤原和博 ダイヤモンド社 2017年刊

こ、心に刺さるタイトルですね……。しかし10代半ばの君たちが持つであろう、漠然とした『将来への不安』にズバッと答えてくれる一冊です。よくある「働くってどういうこと？」という本とは違い、社会の仕組みや経済の仕組みを具体的に説明しながら「就職する」ことに切り込んでいく内容。お仕事本というよりビジネス書と呼んだほうがしっくりくるかも？でも、こんな本を求めている高校生、きっといると思います。



159.7/17

Y A新着本

請求記号	タイトル	作者名
913.7/カネ	真景累ヶ淵	金原 瑞人
F カタ	猫伯爵の憂鬱	かたやま 和華
F ハツ	ひとり吹奏楽部	初野 晴
F モリ	物理的に孤立している俺の高校生活	森田 季節

執筆者の腕がひたすらに試される 名作本コラム『老人と海』ヘミングウェイ

小川高義：訳 光文社 2014年刊

老人は一人で小舟に乗ってメキシコ湾流へ漁に出る。

ページから潮の香りがしそうな名作です。同じ海でもリゾートの海とは全く違う、野性味あふれる漁師たちの海。

老漁師・サンチャゴは、84日間一匹も魚が釣れないという不漁のまっただなかにいた。今は運が悪いだけ、と自分に言い聞かせて今日も小舟で海へ出たサンチャゴの仕掛けに、なんと巨大なカジキが食いつく。そこから三日にもわたるサンチャゴとカジキの壮絶な戦いが始まった！

さて、老人はカジキを釣り上げることが出来るのか？

漁の描写は勿論、メキシコの漁師たちの陸でのようすもいきいきと伝わってきます。すがすがしく力強い物語をぜひ、読んでみて下さいね。



933/ヘミ